

令和元年度活動報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

① はじめに

スサノオの風は、平成15年6月に設立されて以来、17年が経過しました。

佐田地域の人口減少、高齢化、住民意識の変化などにより、スサノオホール等公共施設の利用率、イベントへの参加率の低下が垣間見えました。法人の設立使命である佐田地域の文化・スポーツの融合により地域活性化を図っていく事を基調としながらも地域課題解決に向けた取組みも展開してきました。

スサノオホール、佐田スポーツセンター等の指定管理業務では、利用者の増加を図ることを第一義に考え、若者視点によるイベントの開催、情報発信に傾注してきました。その結果、前年を上回る数値を生み出すことができましたが、令和2年2月末から新型コロナウイルス感染拡大により伸びがストップしてしまいました。

自主財源確保のための障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」の運営、持続可能な地域づくりのための「小さな拠点づくり中間支援事業」新たに第3種旅行業と多種の事業展開をしてきました。

社員雇用面では、1ターン者を正規社員として採用。経理、スポーツセンター管理に各1名のパート社員を採用しました。また、やまびこ園の保健師が令和元年12月末に退職しました。ホール舞台技術者の後任としては、経験者の方に業務委託としました。なお、1ターン者は、令和2年2月から体調を崩し、4月末に退職しました。

法人の運営に多くの若者が参画してくれたことが、今後の法人の行く道を示してくれた気がします。

② 基幹会議

1) 令和元年度社員総会

- 開催日 令和元年6月27日（木）午後7時から
- 開催場所 スサノオホール 2階会議室
- 出席者 73名（うち委任状提出者 54名）会員総数 81名
- 提出議案
 - ・平成30年度事業報告、平成30年度収支決算の承認について
 - ・令和元年度事業計画（案）、令和元年度活動予算（案）について
 - ・令和元年度役員報酬額について

2) 理事会

【第1回理事会】

- 開催日 令和元年6月18日（火）午後6時から

- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 7名 理事総数 11名
- 提出議案
 - ・令和元年度総会提出議案について
 - ・夏季賞与の支給について

【第2回理事会】

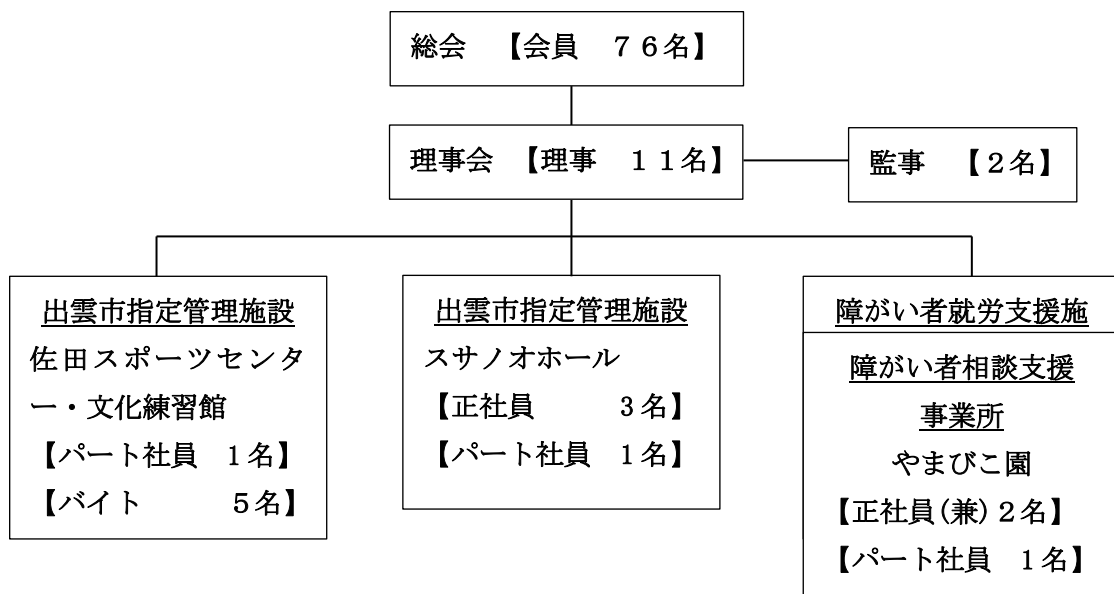
- 開催日 令和元年9月25日（水）午後6時30分から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 7名 理事総数 11名
- 提出議案
 - ・下半期事業計画について
 - ・指定管理の更新申請について
 - ・社員体制について

【第3回理事会】

- 開催日 令和元年12月2日（月）午後7時から
- 開催場所 出雲須佐温泉 ゆかり館
- 出席者 8名 理事総数 11名
- 提出議案
 - ・冬季賞与の支給について
 - ・新年広告の掲載について
 - ・IT関係保守・指導等業務依頼について

※新型コロナウイルス感染拡大防止により会議自粛により開催回数が減少しています。

組織体制（令和2年3月31日現在）



★令和元年度中の社員の推移

- 平成31年4月1日現在社員数 6名
- 令和元年度中退職社員数 1名
- 令和元年度中採用社員数 3名
- 令和元年度末社員数 8名

※社員は、パート社員を含む。

③ 各部門の事業概要

【スサノオホール】

スサノオホール利用者は、平成17年度以降最高値の6,810人を記録しました。この要因としては、「さだのちいさなマーケット cotaba」、佐田自治協会「小さな拠点づくり部会」の定期的開催や佐田町文化協会主催事業の「スーパー神楽」、ごっこまつりの「子ども神楽」があげられます。

法人自主事業としては、初の試みとして8月16日・17日に開催した「ホールの佐田子さん」は、ホール全体をお化け屋敷化し、高い評価を得ました。この企画運営には社員、佐田地域内外の多くの若者が参画しました。このほかに「西藤将人のひとり芝居」「スサノオのこども劇場ミニ」「cotaba 夏の夜市」を実施しました。

施設面では、音響機器の小修繕、誘導灯の更新など細かな事案は実施しましたが、依然として空調機器の故障への不安、舞台設備の劣化への不安は解消されていません。

また、指定管理契約期間満了により更新の申請を行い、令和2年度から2か年間、引き続き受託することになりました。

なお、3月に予定していた劇団Yプロジェクトの公演は、新型コロナウイルス感染拡大防止により延期しました。

- さだの小さなマーケット cotaba 毎月第2日曜日 8回開催 700人
- ホールの佐田子さん 8月16日・17日 84人
- ステージテクニカルアカデミー2019 9月9日 7人
- 西藤将人のひとり芝居「10万年トランク」10月13日 ステージ上 18人
- スサノオのこども劇場ミニ 1月19日 143人
- 演劇ワークショップ 1月26日 2月2日 5人
- 英語カフェ 8月～12月 8回開催 26人
- タイルクラフト教室&ミニ縁日 11月3日 100人

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和元年度	6,810	150	1,085,341
平成30年度	5,095	126	1,152,832
平成29年度	4,733	182	1,417,638
対前年比	1,715	24	△67,491

【佐田スポーツセンター・文化練習館】

佐田スポーツセンターの利用は、相変わらず減少傾向が続いています。

この中で、体育館では今年も年間利用者 1 万人を掲げ、利用促進に力を入れてきました。その結果、2 月末までは順調に利用者が伸び 9000 人を超えましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により 3 月の利用がキャンセルとなり、最終的に 9,196 人の体育館利用となりました。また、利用促進のために 12 月 8 日「あすフリ 1 万人のなんでも市」を開催し、約 700 人が来場しました。

利用状況では、平日の昼間、土曜日の利用が相変わらず少なく、定期的な教室の開催など何らかの方策を講ずる必要に迫られています。

施設面では、耐震調査結果への対応が定まっていない状況の中で、屋根の腐食、アリーナ床面の劣化、結露の発生などの多くの問題が発生しました。

運動場が利用者の減少により、雑草が広がる状況ですが、佐田町グラウンドゴルフ協会の協力により除草剤散布を実施していただきました。

文化練習館は、須佐太鼓、むらくも座を中心に定期的に利用されました。また、営利団体の会議利用もありましたが、昨年より減少しました。

なお、自主事業として、スローエアロビック教室などを開催しました。

- 1) スローエアロビック教室 14回開催 47名参加
- 2) スサノオの風杯バレーボール大会 10月22日 150名参加
- 3) あすフリ 10,000人のなんでも市 12月8日 705名参加

★体育館・グラウンド

年度	利用人数 (人)	利用回数 (回)	利用料金 (円)
令和元年度	11,143	636	1,134,467
内 体育館	9,196	529	834,847
平成30年度	10,030	725	1,432,280
内 体育館	7,944	619	1,084,830
平成29年度	12,169	794	1,592,390
対前年比	1,252	△89	△160,110

★文化練習館

年度	利用人数 (人)	利用回数 (回)	利用料金 (円)
令和元年度	3,070	137	144,122
平成30年度	3,114	140	118,350
平成29年度	3,567	179	160,840
対前年比	△44	△3	25,722

【障がい者福祉事業】

障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、利用者の変動があったものの、ナカバヤシなど軽作業量も安定的にあり、順調な運営が続きました。しかし、工賃の伸びは少なく、作業の開拓など課題を残しました。

農福連携では、(農法)橋波アグリサンシャイン、満寿ファームの2か所で作業をすることができました。併せて朝日たたら管理も実施しました。

また、佐田地域での障がい者福祉の理解を深めようと、2月13日に佐田地区社会福祉協議会との共催で研修会を開催し、約70名の参加がありました。

2月からの新型コロナウイルス感染対策では、マスク着用、検温など感染防止に努めてきました。保健師の退職は、通所者の健康管理に支障を来すこととなりますが、今後は市保健師等と連携を図っていきます。

今後の課題として大きなものに、後継の社員・通所者の確保があります。

【小さな拠点づくり中間支援業務】

平成30年8月から佐田自治協会「小さな拠点づくり部会」の事務局を担当し、毎月1回のペースで部会を開催してきました。今年度は振興協議会の活動・組織に着目し、話し合いを深め、3月に佐田自治協会理事会で報告をしました。

島根大学教育学部 作野広和教授との連携では、全世帯を対象にした「定住調査」卒論調査の「U・Iターン者調査」への協力、10月には、島根大学教育学部地理学研究室「佐田サテライトラボラトリー」(通称さだラボ)を開設していただきました。10月12日に佐田自治協会の皆さんの参加を得、開設式を実施しました。

また、小さな拠点づくりの啓発とさだラボの調査結果報告を合わせて、令和2年2月23日に「持続可能なさだのまちづくりフォーラム兼第1回さだラボフォーラム」をサノオホールで開催しました。このフォーラムには、佐田地域内外から185名が参加。佐田中学校2年生の発表など充実したフォーラムが開催できました。このフォーラム開催にあたり(一財)YS市庭コミュニティ財団の助成を受けました。

【その他の事業】

令和元年9月から第三種旅行業を開始し、全世帯にチラシの配布、営業活動に力を入れてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、計画どおりの展開は出来ませんでした。

佐田町文化協会事務局、出雲市体育協会佐田支部の事務局を担い、各種事業の支援を実施してきました。

法人のPR誌「風のたより」を月刊から季刊に変更し、U・Iターン者を紹介するなど3回発行しました。

出雲市から委託を受けているレンタサイクル事業は、125台(30年度 126台)の貸出を行いました。年々貸出件数は減少傾向です。

また、若手社員によるSNSの活用にも力を入れました。

【財政状況】

第17期（令和元年度）の経常収益は、51,067,625円（対前年比3,314,139円減）となりましたが、この要因としては、島根県小さな拠点づくり中間支援事業委託事業の廃止などによるものです。

経常費用は、52,373,389円（対前年比1,754,165円減）となりました。この結果当期経常増減額が1,386,764円のマイナスとなりました。要因としては、パソコンOSの保守期限満了による更新2台、軽量機の購入、平成30年度小さな拠点事業委託料を財源とした研修参加などによるものです。

年々、法人運営会計が窮屈になってきますが、新たな財源確保として寄付金、助成事業の確保が必要になっています。

（元年度助成金・補助金）

・（一財）YS市庭コミュニティ財団	500,000円
・中国労金NPO支援助成金	50,000円
・出雲市市民協働事業補助金	100,000円
・出雲市 出雲大好き！ターン女性支援金	330,000円
計	980,000円

令和元年度 主な活動



↑ 8/16.17 「ホール」の佐田子さん」 スタッフ一同



↑ 1/19 スサノオこども劇場ミニ
← 10/13 西藤将人のひとり芝居



↑ 10/12 島大「佐田サテライトラボラトリー」開設



↑ 12/8 「あすふり 10000人のなんでも市」



← 2/13 障がい者福祉研修会